



橙の里

DAIDAI NO SATO

多賀小学校だより No.3

令和7年5月30日

電話 68-2105

校訓「夢は大きく

はばたけ多賀っ子」

学校教育目標 「考えを伝え合おう みんなのためにやってみよう」

やってみよう

なんとかなる

ありがとう

ありのまま

子どもたちにつけてほしい力

先日のリレー集会は、雨の合間の澄みきった青空の下、今までの練習の成果や子どもたちの一生懸命さと本気さが全てのレースに表れた気持ちのよい行事となりました。地域の皆様からの温かいお声かけ、保護者の皆様のご家庭での励ましや体調管理の気遣い等、様々な方々に支えられて無事にリレー集会を終えられたことに感謝しています。ありがとうございました。

なりふり構わずゴールを目指して力いっぱい走る姿や日々の練習の成果が表れた流れるようなバトンパスからの力強い走り、転んでも起き上がって歯をくいしばりながら必死に走る姿は、応援するみんなに感動を与えてくれました。子どもたちの力の偉大さを感じたひと時でした。



日々変化していく予測困難な時代の中では、様々な価値観をもつ人々と関わって生きていくようになります。そのような中で、子どもたちが力強く生き抜き、豊かな人生を歩んでいけるようにするために、学校の役割は「生活に必要な学力をつけること」と「社会性を身につけること」だと考えています。

リレー集会の取り組みを通して、各学級で様々な葛藤やドラマがありました。リーダーを中心に、声をかけ全員で目標に向かえた学級もあれば、終わってみると好きな遊びを優先させてバトン練習が十分とれていなかったと自分たちで気づき、秋の運動会に向けての決意を新たにしている学級もありました。

学校生活の中では、自分の思うようにいかないことや、友達とうまくいかず心がすっきりしないことなど、楽しいことばかりではありません。いろんな課題や困ったことを解決していく過程の中で、自分の思いや考えを伝え、お互いを理解し合うことがとても大切になってきます。相手を理解することで、お互いを思いやる気持ちが生まれ、仲間と一緒に目標に向かって挑戦する意欲につながります。仲間と共に歩むこのような経験を通して、これからの困難や苦難を乗り越え、幸せになるための力を身につけてほしいと考えています。子どもたちの幸せで豊かな未来を創っていけるよう学校教育目標の「考えを伝え合おう みんなのためにやってみよう」の実現に向け、地域の皆様や保護者の皆様のお力添えをいただきながら、職員一同全力で取り組んでいきたいと思っています。子どもたちの成長を温かく見守っていただけたら幸いです。

【教頭 北澤 里美】

《授業参観・懇談会で子どもを中心に話し合いましょう》

4月の授業参観・懇談会の参加へのご協力をありがとうございました。4月の授業参観は全体の89%、懇談会は79%の保護者の方の出席がありました。6月も授業参観と懇談会を予定しています。懇談会では、日頃の学習や学級の様子をお伝えします。ぜひ、ご家庭でのお子さんの様子も学校側にお知らせいただき、保護者同士話し合いながら、子どもたちの成長につなげる有意義な時間としていきたいと考えています。ご多用中とは存じますが、ご来校をお待ちしています。